# 平成25年7月臨時教育委員会会議録

平成25年7月臨時教育委員会は、7月10日（金）大府市役所5階委員会室1に招集し、次のとおり審議した。

○出席した委員

一番席委員　河合　昌和　　二番席委員　日比　靖子　　三番席委員　竹中　万里

四番席委員　相木　鍾三　　五番席委員　淺井　宣亮　　六番席委員　細谷　正明

○議案説明のため出席した事務局職員

教育部長、学校教育課長、指導主事、学校教育課庶務施設係長、学校教育課学校教育係長

○傍聴者　1名

○提案議案

議案第　39号　平成26年度使用小・中学校教科用図書採択について

40号　知多地区における知的障害特別支援学校新設に関する要望について

開会時間　午前11時00分

閉会時間　午前11時30分

| 発　　言　　者 | 要　　旨 |
| --- | --- |
| 委員長 | 開会あいさつ。<br>それでは議案の審議に入ります。議案第39号「平成26年度使用小・中学校教科用図書採択について」ご説明をお願いします。 |
| 学校教育課<br>指導主事 | 議案第39号「平成26年度使用小・中学校教科用図書採択について」（以下、提案理由等資料により説明） |
| 委員長 | 今、ご提案の中に県の教育委員会から出された採択基準についてのお話がありました。<br>1点目は、25年度教科書等と同じものを採択するという原則が示されております。<br>2点目は、私どもも展示会に行かせていただいたわけですが、展示会でのご意見の中に、25 年度の教科書を否定するというような意見はなかったというご報告でございます。<br>それでは、審議に入りたいと思います。この件について何かございますか。 |
| ４番委員 | 7月4日、東海市の教員研修センターで行われていた教科書展示会へ行ってきました。知多管内で使用されている教科書や他の地区で使用されている教科書を実際に手にとって見てまいりました。展示会には、非常にたくさんの教科書がありましたので、十分に精査するという段階までは出来ませんでしたけれども、私の感想を申し上げます。<br>現在、知多管内で使用されている教科書、他の地区で使用されている教科書でも言えますが、私たちが小中学校の時代に使用していた教科書と比べて、版が大きくなっていたり、紙質が良くなっていたり、カラー印刷できれいで、非常に分かりやすくなっているなと感じました。先ほどの県の基準にもありますように、特に 25 年度の教科書を変えるという理由は全く考えませんでしたので、ぜひ、このまま同じ教科書を採択していただきたいと思っております。 |
| 委員長 | 実際に、教科書を使う学習者である子どもたちにとって、大変、分かりやすくなっているというお話でございました。他の委員の皆さんも、いかがでしょうか。 |
| ５番委員 | 私には、現在、中学生と小学生の子どもがいますが、二人ともに、今の教科書で何か不満があるかと聞きましたら、別に何も構わないということでしたので、子どもたちにとっても、今の教科書で問題ないかなと思っております。ただ一点、教科書の採択には全然関係ない事ですが、先ほど相木委員もおっしゃったように非常に紙質が良いということで、逆に、昔より教科書が重いのではないかなと。ですから、子どもたちが言っていたのは、昔は、軽い薄いかばんで持っていけていたのが、今の中学生はたくさんの教科書を持って行きますので、教科書を軽くしてくれたらいいなという意見は子どもから出ました。<br>内容に関しては、非常にすばらしいものがあったと思いますので、変える必要は全くないと私は思います。 |
| 委員長 | 来年、改訂がありますと、また内容が厚くなるかもしれませんけど、今お話がありましたように、日本の学校は、毎日子どもは教科書を持って通いますので、軽さというのは、大変大事だろうというふうに思います。<br>他にいかがでしょうか。 |

| 発　　言　　者 | 要　　旨 |
| --- | --- |
| ２番委員 | 私は、別の日に竹中委員と展示会に行ってきました。やはり、毎年、教科書を見せていただいているのですが、本当に内容が充実していて、それで、子どもたちが興味を持って学習出来るような工夫等が見られることに、毎年ながら感激して帰ってきます。先ほど、淺井委員が言われたように、写真等で重くなっていると思いますけれども、私たちが学んだ時代に比べたら、本当に目からもいろいろなイメージをつかみやすくなっていて、親切な教科書になっているなと感じました。 |
| 委員長 | 今、日比委員からお話がありましたように、昔と比べて大変、視覚的にも見やすい教科書になっていると。少し前に、中央教育審議会で第二期の教育振興計画の答申が発表されたというふうに思いますが、それの前文に、これからの何年かの教育が「自立協働創造に向けた一人一人の主体的な学び」というような文言があったように記憶をしております。<br>他に何かありませんか。 |
| ３番委員 | 私は、6 月 21 日に行ってまいりました。私は今回、委員になって初めて拝見しましたので、まずは、新しい教科書の読みやすさやきれいさに驚きました。<br>子どもの教科書を身近に見る機会から離れて、もう数年経ちますので、毎年新しく良いものが取り入れられているのではないかと感じました。<br>教員として、細かい使用する立場の判断っていうのは出来ませんが、このごろ学校を訪問する機会もでき、子どもたちが、今、本当にいきいきと教科書を使い、良い学校生活をおくっているのを目の当たりにしておりますので、今回の教科書は、すばらしいものではないかということを思いました。<br>特に、国語の教科書は内容的に身近な感じがしまして、いろいろと拝見したのですが、採用される作品の新しさでありますとか、読み物として耐えうるのではないか。もしかしたら、家で家族と一緒に教科書を見て楽しむ時間が作れるのではないかとつくづく思いました。そのようなすばらしい教科書ですので、このままで来年度も良いと思います。 |
| 委員長 | 委員の皆さん方のご意見を聞いておりますと、先ほどのご提案にありましたように、県の採択基準は 25 年度使用教科書と同じものとするということが知多地方教育事務協議会でも承認されているということでございます。ですから、大府市教育委員会につきましても、原案のとおり 25 年度使用教科書を推薦していくということでよろしいでしょうか。 |
| | （異議なし） |
| 委員長 | それでは、この件に関しては承認いたします。<br>続きまして、議案 40 号「知多地区における知的障害特別支援学校新設に関する要望について」ご説明をお願いします。 |
| 学校教育課<br>指導主事 | 議案 40 号「知多地区における知的障害特別支援学校新設に関する要望について」<br>（以下、提案理由等資料により説明） |
| 委員長 | 今、ご提案がありましたように、半田養護学校の常識を超えるマンモス化や、5 市 5 町から通ってきますので通学時間の問題等々を考えまして、子どもたちのニーズに応えるためにはどうしても新しい学校が必要だということでございます。この件について何かございますか。 |

| 発　　言　　者 | 要　　旨 |
| --- | --- |
| ６番委員 | 若干の補足をさせていただきます。<br>この件につきましては、平成18年度に、知多地方の5市5町のそれぞれの議会でもって、要望書が出されているという経緯がございます。この時は、バスの増便、そして、半田養護学校のマンモス化解消ということについて、改善していただくようにということで、各議会が足並みそろえて要望を出したということでございます。<br>ただ、財政的な理由等々含めて、なかなか実現の運びとならなかったということでございますが、一方で、この問題につきましては、半田養護学校のＰＴＡからも署名活動並びに要望が今出されているという動きも聞いております。そういう意味では限界を超えているという状況、あるいはニーズが高まっているという気運等も含めて、機は熟しているということを思っておりますので、委員の皆さんにもご理解をいただきたいということを申し添えたいと思います。 |
| 委員長 | 今、お話がありましたように、議会の方からも平成18年度に、既に要望書が出されているということであります。また、半田養護学校のＰＴＡからも要望が出ているというお話がありました。<br>何か、ご質問ご意見等がありましたらお願いします。 |
| ２番委員 | 質問ですが、半田養護学校へ通学されている人数が468名と書いてありますが、半田養護学校の受け入れるのに適正人数というのは何人ぐらいですか。それから、大府市から半田養護学校へ何人ぐらいの子どもたちが通っているのですか。最後に、保育園だと待機児童という形でいますけれども、この半田養護学校へ通いたいけれども、受け入れ等の事情で行けていない子どもたちが、今実際にいるのかどうか教えてください。 |
| 学校教育課<br>指導主事 | 分かる範囲で答えさせていただきます。まず、1点目の適正人数についてですが、どれくらいの人数が適正であるのかというのは、はっきり申し上げることが出来ませんが、先ほども言いましたように、以前は、特別教室や教材室等が各フロアにありました。しかし、今ではほとんど無い状態になってきていて、かなり限界であるというふうに聞いております。現在、468名の子どもたちが通っていますから、それよりかなり少ない人数が適正人数であろうと思われます。<br>3点目のご質問ですが、特に、高等部で進学を希望する子どもたちの多くが、この半田養護学校を希望していても、なかなか入れず、専門学校等へ進学をしているというふうに聞いております。私も実際に説明会等を聞きに行ったのですが、手帳がないとなかなか入学できない現状があって、手帳がなくても養護学校でという希望がたくさんですが、現状は受け入れてもらえないと聞いております。<br>それから2点目の大府市から通っている人数ですが、今、手持ちの資料がありませんので、後で再度確認し報告をさせていただきます。 |
| ６番委員 | ただいまのご質問ですが、適正規模につきましては、私も手元に数字をもっておりませんので、後ほど調べて報告をさせますけれども、定員というのはあります。ですが、定員に対して、この特別支援学校という特性がありまして、例えば、仮に100名の定員の学校で、毎日100人の子どもたちが学校へ来るとは限らないのです。どちらかと言うと、休みがちなお子さんもいらっしゃるものですから、その辺も若干見越しながら、定員よりも多めに受け入れているという現実はあるということを聞いておりますので、追加でご報告をさせていただきます。 |

| 発　　言　　者 | 要　　旨 |
| --- | --- |
| 委員長 | 要望書の中にありましたように、特別教室や作業室を、実際に教育活動が出来ない形で、廊下の隅等に置いているようでは、これはいけないと思いますので、アクションプランⅡ（愛知県教育振興基本計画）にも書かれておりますように、どうか知多地区にある県有施設を活用した養護学校の新設を検討するというふうに明記されておりますので、この線で何とか大府市の教育委員会としても、早く新設校を造っていただくように要望を出してよろしいでしょうか。 |
| ３番委員 | 意見ですが、まず１点目として、大府市から半田市へ通学するということの大変さは、具体的に考えてみたら本当に大変なことだと思います。健常な子どもでも、もし、それをやったとしたら大変ですが、それに加えて知的障害のある子どもたちがそういうことをしているということは改善できれば、少しでも近いところへ通わせてあげたいと思います。<br>２点目に、小学校や中学校は、知的障害のレベルによって、学校での受け入れとして特別支援クラスというのがあると思いますが、実際の普通高校進学の人数がこれだけ増えている中で、高校へ進学したり知的障害のある子どもたちを受け入れるものが少ないということは、普通高校に特別支援クラスがないことを考えただけでも分かると感じました。桃陵高校にある桃花校舎は、自立通学ができる知的障害高等部の子どもたちの学校だそうですが、知的障害を持った生徒の中でも、まだ、自分で学校へ通える子どもたちは、そういう受け皿がありますが、大府市にその学校があっても、そういうレベルまでいかない知的障害者で高等学校に通いたい子どもたちの受け入れというのは、本当に切実な問題だなと感じます。ですから、知多北部地域にそのような学校が出来ることは、本当に望まれていることだと思いました。 |
| 委員長 | 他にありませんか。 |
| ５番委員 | 先日、桃陵高校の中にある養護学校の先生とお話する機会がありました。先ほど、日比委員もおっしゃっていましたが、私が、希望をすれば誰でも学校へ入れるのですかと尋ねましたら、結構入れません、という答えが返ってきました。場所等いろいろな制約があるということです。ですから、やはり現場で働いている先生方も必要だと、非常に強く思っているようです。<br>もう１点、現場の感覚からすると、理想は新設校を造ってほしいが、もし、それが出来ないのであれば、現在、もう本当に手一杯なのだから、桃陵高校のような分校みたいなものでもいいので欲しいと、本当に切羽詰った感じが、その方とお話をしていて思いました。 |
| ４番委員 | 特別支援学校の児童生徒数が 468 名ということになりますと、そこで働いていらっしゃる教職員の方の人数は、だいたいどれくらいの人数ですか。 |
| 学校教育課<br>指導主事 | 事務職員等全て含めまして、203 名みえます。 |
| ４番委員 | そうしますと、教職員等が 200 名を超すということになりますと、学校運営をしていく面からみても、なかなか難しい問題も出てくるのではないかという気がいたします。 |

| 発　　言　　者 | 要　　旨 |
| --- | --- |
| 委員長 | 今、子どもだけの問題ではなくて、職員の組織の中で、これだけの人数を束ねて意思統一をして教育にあたるということの難しさについてご指摘があったと思います。 |
| 委員長 | 他にありませんか。それでは、この要望書につきましては、ご提案のとおり私どもも承認ということでよろしいでしょうか。 |
| | （異議なし） |
| 委員長 | 異議なしですので、議案 40 号「知多地区における知的障害特別支援学校新設に関する要望について」は、承認いたします。以上で、臨時教育委員会を終了いたします。<br>（以下余白） |